

当たり前を見直したら 新しい当たり前になった

～職員の意識改革～



社会福祉法人 ひじり会
特別養護老人ホーム ひじり園うきは



【施設について】

○法人理念： 地域のために 地域とともに

○施設の特徴： 勤続年数が長い職員が多数在籍（最長勤続44年）
開設時より眠りスキャン等福祉機器を取り入れている

○本事業参加のへきかけ



職員の負担軽減



選ばれる施設を目指して



入居者様のQOL向上



新たな取り組み

統括施設長

筑後地域の一員として新たな思考を取り入れ、**選ばれる施設**を目指す！

ひじり会は、2つの事業所でノーリフティングケア事業へ参加することになる

【今までの当たり前】

ベテラン職員

若手・新人職員

身体がきついし
足腰も痛い…
でも職業病だから
しょうがないわね



腰痛？
私は大丈夫です！



固定観念・知識不足

中堅職員

入居者様

抱え上げ介助は
当たり前！
早く次の仕事を
しないと



抱えられると痛いけど
自分では動けない
から仕方がない



体の負担

腰痛リスク

入居者様の
重度化

ノーリフティングケアで 当たり前 を見直そう！

新・当たり前① ケアを見直せば 欲が出る



重たいのに
ごめんね

2人介助での抱え上げ
腰に負担大
→シート移乗に

スライディングシート使用者

1名 → 4名



これなら
楽ちんね～
ありがとう！

抱え上げでの移乗は
入居者様にも負担が
→ボード移乗に



スライディングボード使用者

2名 → 5名

職員からは「この方にも
使ってみたい」との声が
聞かれるようになるなど
少しずつ意識の変化が！

福祉用具使用者の増加や介助時の負担軽減等の変化がみられた！



新・当たり前② 技術研修：受講スタンプラリーで目指せゴール

●個人の研修カードを作成し
モチベーションUP!!

●職員を集めての集合研修が難しく
できる時にできるだけ
少人数・短時間で実施



1項目ごとに研修を
終わると1スタンプ



頑張ります!

「質問しやすい」「見えやすい」と職員にも好評!



実際の介助時や
業務の合間で研修

【技術研修対策の結果】



時間がかかるし、
こんなの無理
じゃない?

抱えた方が早い

難しそうだし
私にはできそうに
ないけど...

開始当初はネガティブな声ばかり...



これならゲストも
私たちも楽だね

もっと知りたい!
覚えたい!

これなら私にも
できるかも

研修が進むにつれて少しずつポジティブな声も聞かれるように!

今まで当たり前に行っていた介助方法を見直すきっかけとなった!

新・当たり前③ リスク管理：小さなリスクも大きなリスク



気付きシート活用

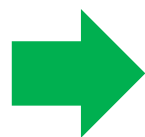


気付きBOX設置



勉強会でのリスク抽出

はじめは思うように
リスクが集まらず苦戦...
委員で緊急会議



気付きシート提出の
少ないユニットには
委員より個別で働き
かけを行いました!



ユニット別気付き表を作成し
毎月の目標を設定



競い合うような形にしたことが功を奏し、

全ユニットが最終目標達成!!

→小さなリスクにも目が向くようになり
意見が多く出るようになった

新・当たり前④ リスク管理で思わぬ効果

★気付きシートより①
「ゴミ出しが大変」
との声あり



台車導入!

1回で2ユニット分の
ゴミ出しが可能となり
作業効率UP!

★気付きシートより②
特浴での入浴の際、
移乗回数も多く負担大

スライディングシートを使
い、ベッドから特浴用のス
トレッチャーへ直接移乗!



業務の見直しを行うことで
移乗介助の回数は半分に

★ラウンドで不良姿勢発見!
薬の準備が立ち作業でもあり
腰痛リスクが高い...



薬袋をかごに入れて保管
することで持ち運んで作
業ができるように!



座って作業ができ楽になった

新・当たり前⑥ 保存は縦積み・保管は横置き



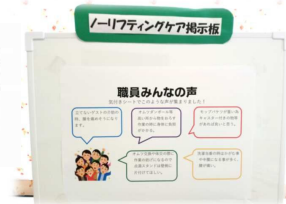
このオムツ倉庫
どうにかできない
かな？



オムツ倉庫を整理し、
一番下に空箱を置いて
抱え上げを減らす工夫
してみるもまだまだ
使いにくい…



始めは反対意見もあり
ましたが…思い切って
オムツ倉庫の場所と保
管方法を変更！
結果は・・・大成功♪



ノーリフティングケアの
情報を発信



新・当たり前⑥ 体操は1日のリハビリ



毎日のリハビリ体操
は入居者様と一緒に



ロッカーに掲示し
た表をみながら
始業前の体操！



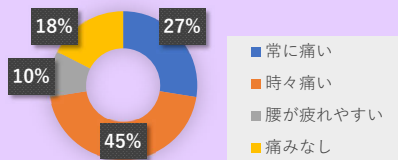
体操の声掛けや
掲示物の作成は
安全衛生委員と
協力



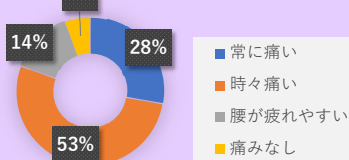
しかし、まだまだ**体操の習慣化**が全職員に浸透しているとは
言えないのが今の現状・・・
「**体操することが当たり前**」を目指して今後も啓発活動を継続！

【腰痛アンケート結果】

6月腰痛度



12月腰痛度



腰痛アンケートの結果、腰痛度は変化見られず・・・
しかし！業務について「**抱え上げがほとんどである**」と答えた職員が
半年間で**半数に減少**

→ **業務やケアの見直しを行った成果！**
今までの当たり前が少しずつ変わってきていると実感



抱え上げや不良姿勢をなくし
腰痛者を減らす事が次年度の課題！

【取り組み1年目まとめ】

当たり前を見直すことから始まった取り組み

良かった点



○気づきシートの活用が**意見を出しやすい風土**作りに繋がった。
○腰痛や抱え上げが当たり前という職員の**意識に変化**がみられ「しょうがない」が「どうにかしたい」に変わった。
○福祉用具の整備や業務の見直し、抽出されたリスクへの対策にて**職場環境の改善**が図れた。

反省点



○福祉用具の活用は進んできたが現場においてまだ**抱え上げがある**のが現状である。
○時間の確保や指導者の育成が難しく**技術指導**が計画通りに進まなかった。
○腰痛**予防**や腰痛者に対しての対策が不十分であった。

抱え上げない介護が**当たり前**になるように
これからも「見直し」を続けていこう！